

## ”さあ、宇宙旅行の幕開けだ！ヴァージン・ギャラクティック社の創業者 が、自ら宇宙船に乗込んで幕をこじ開けた“

2021年7月12日

宇宙旅行協会

会長・パトリック コリンズ、理事長・高野 忠

2021年7月11日宇宙船VSS Unityは、双胴の輸送機に吊り下げられて、ニューメキシコ州のスペースポート・アメリカを飛び立った。その中には、ブランソン卿含む乗客役4人と、クルー2人が乗っている。高度14kmで輸送機から切り離され、自分のロケットエンジンを噴かせて(図1)、一気に高度86kmの宇宙に到達した。

乗客は、無重力状態を楽しみ、宇宙の眺めに魅せられた(図2)。ブランソン卿にとっては、会社設立後17年の思いが脳裏をよぎったであろう。帰還後、「あらゆる年齢、あらゆるバックグラウンド、あらゆる性別、あらゆる民族の人々が、宇宙に平等にアクセスできる世界だ。新しい宇宙時代の幕開けによろこそ！」と語った。記者は、「この発言は時期尚早なものであり、そのような世界が訪れるのはまだ先のことだ」と書いているが、それこそが間違っている。ここからすぐ、大衆の宇宙旅行時代が始まるのだ。

この宇宙船は、水平に発射され、水平に滑空して着陸する。普通のジェット機と同じだ。その推進剤は、固体燃料と液体酸化剤であり、暴発することはない。液体水素や液体酸素とは違うのである。全体として、極めて安全であると思っている。

ただし予定していた宇宙からのスピーチは、通信回線が途切れたために不可能となったようだ。通信問題などロケットで飛ぶこと以外は、我々宇宙旅行協会員が危ぶんでいたことであり、今後充実していく必要がある。

東京大学出版会の「宇宙旅行入門」は、上述のヴァージン・ギャラクティック社を含めて、種々の宇宙旅行についてまとめている。是非一読して、宇宙旅行時代に備えよう。

\* 高野忠、パトリック・コリンズ、日本宇宙協会(編)、「宇宙旅行入門」、東京大学出版会、2018.



図 1. 宇宙船 VSS Unity に点火



図 2. ブランソン卿も無重力状態に